

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	23 26	ケアプランのカンファレンスやモニタリングが充分に行えておらず、ニーズの把握や実際のケアが満足に行えていない。	利用者様の個々のニーズを把握し、適切なケアプランを作成する。	・チームを再編成し、ケアプランの見直しを行う。 ・計画表を作り、カンファレンスやモニタリングを定期的に行う。 ・御家族と面談する機会を設け、ニーズの把握に努める。	3ヶ月
2	4	運営推進会議が定期的に行えていない。	早急に運営推進会議を開催し、定期的に開催する事が出来る。	・新年度になったら早々に開催する。 ・開催時に次の開催日時を告げ、定期的に行える様にする。	1ヶ月
3	10 11	ホームの運営に対し、家族や職員の意見が反映されていない。	ご家族の意見は職員全員が把握し、情報を共有する。また、本部との連携も密にして、質の向上を図る。	・御家族に送った手紙を職員全員が回覧する。 ・管理者会議で職員の意見を報告し、会議の内容を告知する。 ・サンクスカードの更なる活用と発展を検討する。	3ヶ月
4	35	定期的な防災訓練が行えていない。	防災訓練が定期的に行える。	・社内研修計画に基づき5月に実施予定。 ・防災訓練用のファイルを作成し、防火管理者が管理する。 ・実際の訓練だけでなく、シュミレーションや図上訓練も行える。	3ヶ月
5	20 49	日常的な外出支援が行えていない。 また、馴染みの関係を保つ事が出来ていない。	全員の利用者が日常的に外出できる。 馴染みの関係を保ち続けられる。	・日常的に外出支援できる様に職員の配置や業務内容を再検討する。 ・身近な場所へ買い物に出掛けられる様に食材の調達についても再検討する。 ・ホーム内環境を整備しホーム内を開放する。	2ヶ月
6	6 33	身体拘束を行わないケアや、重度化した場合のケアについて、職員が情報を共有していない。	勉強会やカンファレンスを行い、全職員が情報を共有する。	・社内研修計画に基づき、4月と10月に行う予定だが、随時勉強会を行う。 ・一方的な研修会にならない様に、担当職員を決めて、発表してもらう。	6ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目の を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。